

Oh!Me

オー!ミー

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.313・4月8日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

素敵な人



筆師 雲平筆15世

藤野 雲平さん(60歳・高島市在住)

400年続く 巻筆の伝統を伝える

日本で唯一



400年の伝統を誇り、多くの書家に愛され続けてきた巻筆の名品「雲平筆」。雲平筆15世の藤野雲平さんは日本でただ一人、伝統の巻筆の技を今に伝え未来につなぐ筆師だ。

まとまりよく弾力ある筆

筆には、芯にする毛の根元を和紙で包み、その上に別の毛をかけて麻糸で締める「巻筆(紙巻筆)」と、毛を束ねただけの「水筆」がある。

大和時代初期、最初にわが国に伝わったのは巻筆。芯の部分をしっかりとするため筆のまとまりがよく弾力があるのが特徴で、多くの書道家に愛されてきた。一方、水筆は江戸時代末期から明治時代にかけて伝わった。歴史が浅いにもかかわらず、墨の含みがよく短時間で作れることもあって現在ではこ

ちらが主流になっている。藤野さんが作るのは昔ながらの巻筆。今では巻筆を作る筆師は、日本で藤野さん1人になってしまい、滋賀県の伝統工芸品にも指定されている。藤野さんが作る筆は雲平筆と呼ばれている。約400年前の1615(元和元)年、初代の藤野雲平さんが京都で筆工を営んだのが始まりで、5代目のときに近衛茅楽院家熙公から「攀桂堂」の屋号を与えられた。

現在、天平筆、兼毫筆龍藤巻筆、弘法大師流筆、藤原定家卿筆、上代様筆、

光悦筆、道風朝臣用筆などさまざまな種類の巻筆を作っている。

書く人の好みに合わせる

藤野さんが筆作りを始めたのは18歳のとき。先代の作業を見て技術を身に付け、筆の良さを知るため18歳から30歳まで書道を習いながらの修業だった。工程はすべて手作業。毛を麻糸で縛る「尾締め」、手すき和紙で穂の部分巻きつ

ける「紙巻き」などさまざまな工程があるが、特に時間をかけるのは、羊毛や鹿毛、イタチ毛などの毛を選別して筆の形にしていく「芯立て」。動物ごとに毛の特徴が異なり、個体によって毛の質も微妙に違うため、原料の見極めが難しい。この芯立てで筆の良し悪しが決まってしまうほどだという。柔らかいものや弾力のあるもの、粘りがあるものなどを交えて目的の書き味を作り出す。

「書く人や書体によっても筆が変わります。書く人の話をよく聞き、好みに合わせて筆を作るようにしています」



職人の作業場と販売場所が一緒で、お客さんと直接話せる。使い手の意をくみ取り、その人に最適な筆を作り上げることを藤野さんは大切にしている。

長男も一緒に

「使って良かった」そう言ってもらえることが藤野さんにとって何よりの喜びだ。あるとき書道家から源氏物語を書くために150本の筆を依頼されたことがあった。源氏物語は無事完成、作品は宇治の平等院へ奉納された。その際、150本の筆も共に納められたという。

「作品が評価されることがあっても、その道具にまで目を向けてもらえることはあまりないのでとてもうれしかった」

現在、3年間修業に出していた長男の純一さん(27)が戻り、一緒に筆を作るようになった。60歳という節目の歳を迎え、新しいことに挑戦してみたいという。

ことが藤野さんにとって何よりの喜びだ。あるとき書道家から源氏物語を書くために150本の筆を依頼されたことがあった。



(取材・澤井) 詳しくは www.gaido.jp/3131

はんけいどう 攀桂堂 ●高島市安曇川町上小川90-6 ●TEL:0740-32-0236

滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みは **0120-468-012**

α-station SPECIAL PROGRAM
SPRING FANTASY 2010

4.10 日
19:00~20:20
α-stationの公開録音

武川アイ LIVE IN 三井寺

会場:三井寺観音堂 展望広場
主催:園城寺(三井寺)
後援:大津市びわ湖大津観光協会
ライトアップ大津推進協議会
協力:エフエム京都(α-station)

入場無料
雨天決行

入山料・駐車場無料

春のライトアップ

4/1(木)~18(日)
琵琶湖疏水と三井寺境内

入山料・駐車場 **無料**

18時半~21時半 期間中の時間帯

秘仏本尊御開帳

西国第十四番札所
「本尊は如意輪観音坐像(重要文化財)で三十三年に一度しか開帳されない秘仏です。如意とは如意宝珠のこと、輪は輪廻のこと、合わせて衆生に財宝を与え、煩惱を破る仏として厚く信仰されてきました。是非この機会にお越し下さい。」

本尊(如意輪観音坐像)お前立

平成22年 3月17日~4月18日 特別拝観 200円

近江八景、三井の晩鐘
西国第14番札所

三井寺

PCからアクセス!

●滋賀県大津市園城寺町246 ●拝観時間/午前8時~午後5時
●電話 (077)522-2238 ●駐車場/350台収容(1日 500円)

拝観料	大人 500円	中高生 300円	小学生 200円
-----	---------	----------	----------

[交通のご案内]
●JR琵琶湖線大津駅下車、京阪バス 三井寺下車
●JR湖西線大津駅下車、京阪バス 三井寺下車
●京阪石坂線三井寺駅下車徒歩10分
※団体割引有。